

事務事業名	コード1	20400	生活排水処理施設管理費	課	環境課					
	コード2			所属班	環境美化班					
			<input type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	62-5329	内線	475			
施策体系	基本方針	2	快適でうるおいのあるまちづくり	予算科目	会計			款	項	目
	施策	1	環境保全対策の充実	根拠法令	一般会計			4	1	4
	施策の展開	1	住み良い環境の確保		水質汚濁防止法、旭市環境基本条例、旭市環境保全条例					
	基本事業	75	生活排水路等の維持管理							

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 4 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳	萩園生活排水処理施設において、飯岡海岸地区61.8ヘクタールの生活排水をマンホール場でポンプアップし、処理場にて浄化処理した後、海に放流することにより海岸環境の悪化防止と水質保全を図る。【施設面積】920㎡【マンホール場】10箇所 【業務内容】1. 委託業務(①自家用電気工作物保守点検業務委託 ②排水処理施設の維持管理委託 ③汚泥の分析業務委託、④汚泥の運搬業務委託、⑤汚泥の処理業務委託、⑥マンホールの維持管理業務委託) 2. 放水路等の維持管理
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	
	【業務の流れ】 【委託業務】 ①委託契約→②業務立会→③支払い 【放水路等の維持管理】<維持管理>①現場確認→②作業依頼 <草刈>①臨時職員により実施

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(25年度の実績) 単位:千円	
1.維持補修費	2,114;マンホール等の修繕
2.施設維持管理委託料	1,890;処理施設等の保守点検整備
3.清掃委託料	3,408;発生汚泥の収集運搬・処分等
4.その他(委託料)	273;汚泥検査、自家用電気工作物保守点検
5.その他	6,379;消耗品費、光熱水費、保険料
【前年度比増減理由】汚泥処分量単価増	
② 延べ業務時間の内訳(25年度の実績) 単位:時間	
契約事務	2時間×14回=28時間
修繕等による現地等の確認	4時間×6回=24時間
業者等の対応	0.5時間×52回=26時間

事業費	1.維持補修費	千円	948	2,651	2,114	2,000
	2.施設維持管理委託料	千円	0	1,991	1,890	2,500
	3.清掃委託料	千円	266	2,377	3,408	5,039
	4.その他(委託料)	千円	78	271	273	307
	5.その他	千円	353	6,497	6,379	6,810
	事業費計(A)	千円	1,645	13,787	14,064	16,656
人件費	正規職員従事人数	人	#VALUE!	0.04	0.04	0.04
	延べ業務時間	時間	未把握	78	78	80
	人件費計(B)	千円	#VALUE!	296	296	304
	トータルコスト(A)+(B)	千円	#VALUE!	14,083	14,360	16,960

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	⑤ 活動指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・施設の修繕工事 ・施設の維持管理・点検整備 ・発生汚泥の収集運搬・処分等 ・汚泥の分析検査 26年度計画(26年度に計画している主な活動) ・施設の修繕工事 ・施設の維持管理・点検整備 ・発生汚泥の収集運搬・処分等		ア 施設の保守点検(放水水等の分析検査)回数	回	0	53	53	53
			イ 発生汚泥の収集運搬・処分量	t	26.180	106.475	161.600	240.000
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⇒	⑥ 対象指標名	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	飯岡海水浴場 処理区域		ア 排水処理区域	ha	61.8	61.8	61.8	61.8
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	水質が保全される		ア 飯岡海水浴場における水質検査結果(海開き前2回、開催中2回)(飯岡、矢指ヶ浦のCOD数値の平均)	mg/l		2.5	2.2	2.0
			イ 放流する水の水質(上段BODの数値平均)	mg/l		3.1	2.2	20.0
	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⇒	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
	公共水域の水質保全		ア 新川の水質検査結果(14か所2回、事業所2か所1回)(夏季、冬季のBODの平均値)	mg/l	8.0	7.0	5.1	5.0

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
生活排水が主要排水路を経て海へ放流されることで、浜に汚泥の堆積や葦が生い茂ることにより、海岸環境の悪化、周辺への悪臭、海水浴場等への汚染が懸念され、海岸環境の整備保全が急務となったため、施設が設置された。	ガンリン・燃料代の高騰等に伴い、汚泥の収集運搬・処分費が上がっている。	適正に管理されており、特に要望等はない。

事務事業名	生活排水処理施設管理費	課名	環境課	班名	環境美化班
-------	-------------	----	-----	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 飯岡海水浴場や処理区域の水質が保全されることは公共水域の水質保全につながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 飯岡海水浴場の水質に影響を与える区域が処理区域として設定されており、適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 環境基本条例等により、市として環境の保全を図る責務がある
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 放流する水質については、目標とする数値に達している。また、飯岡海水浴場付近において、生活排水の滞留は解消されており、妥当である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 放流する水質については、目標とする数値に達している。また、飯岡海水浴場付近において、生活排水の滞留は解消されており、活動量を増やしたりしても、今以上成果は向上しない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(農業集落排水事業、下水道事業、合併浄化槽事業) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業として、農業集落排水事業、下水道事業、合併浄化槽事業があるが、地理的要因等により、連携をとることは難しい。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 設置構造物の老朽化による修繕費の増加、並びに汚泥の収集運搬・処分費の上昇により、事業費は増加傾向にあり、削減は難しいが、汚泥の収集運搬・処理業務委託について処分量の精査、入札等で費用増加の抑制を図る。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 業務時間としては、維持管理に係る最低限の時間であり、削減は難しい
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 区域内においては、制限することなく生活排水を処理しており、公平・公正である。また、農業集落排水や下水道事業と異なり、し尿処理は行っていないため、排水処理に係る費用を徴収しないことは適切である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	放流する水質については、目標とする数値に達している。また、飯岡海水浴場付近において、生活排水の対流は解消されている。修繕費や汚泥の収集運搬・処理費が上昇しており、引き続き事業費の抑制を図りながら事業を実施する。
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																						
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																								
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																									
いつまでに	なにを、どうするのか？																								
継続実施	汚泥の収集運搬・処理費の抑制を図る。																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									
汚泥の収集運搬・処理業務委託について引き続き処分量の見積精査、入札等で抑制を図る。																									